

(議事要旨 2) 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

企業会計基準委員会 (ASBJ) の小野委員長及び小賀坂副委員長より、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われた。

その後、以下のとおり、基準諮問会議の委員より意見が出された。

<収益認識に関する会計基準の開発の状況>

- 開発される日本基準の内容が IFRS 第 15 号と乖離しないようにすべきである。
- 我が国においてはポイントの発行形態が多様で、かつ多額のポイントが発行されており、利益に重要な影響を与える企業もあると考えられるため、会計基準の開発にあたっては、財務諸表利用者に誤解を与えないよう注記を充実させるなどの対応をお願いしたい。

<適用後レビューの計画策定についての意見募集>

- 意見募集文書の質問 2 について、「有用な情報」の判断基準は回答者の立場により異なると考えられるため、有用性の判断基準もご回答いただくことも付け加えてはどうか。
- 対象は会計基準と適用指針で足りると考えられ、実務対応報告は含めなくてよいのではないか。また、「開発中に議論となった主な事項」等、回答のヒントとなることをより多く記載して欲しい。
- 今回の取組みの次の適用後レビューについても、実施時期や対象等の考え方を整理しておく必要がある。

これらの点について、ASBJ 小賀坂副委員長より、頂いたご意見を参考に検討していきたい旨の回答があった。

以 上